

## 2年に1回は胃がん検診（内視鏡検査）を受けましょう！

厚生労働省は「胃がん検診」として50歳以上の方に2年に1回、胃内視鏡検査（胃カメラ）を推奨しています。当健保組合では以下の補助制度を設けています。胃がんの早期発見・早期治療のため、対象の方はぜひご利用ください。

胃がんは40歳代後半から増加し、がんの死亡順位は男性の第3位、女性の第5位です。（2022年）症状のないうちに早期発見すればほぼ治るので、胃がん検診を受けることが大切です。

胃がん検診は「有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン」（2006年）に基づいて2014年に「胃内視鏡検査（胃カメラ）」が一次検診の方法として推奨されるようになりました。

50歳以上の方には2年に1回お住まいの市町村で胃がん検診（胃内視鏡検査）を実施しています。

### <胃がん検診（内視鏡検査）補助制度>

- 対象者：**50歳以上偶数年齢（※）の強制被保険者（従業員）**  
（※）年齢は年度末年齢（翌年3月末時点の年齢）です。
- 受診期間：該当する年度の4月1日～3月31日
- 対象検査：市町村や医療機関で実施する胃がん検診（胃内視鏡検査または胃部X線検査）  
お住まいの市町村で胃がん検診を実施しています。実施期間が短い場合がありますので、早めに広報誌やホームページ等で確認してお受けください。
- 補助額：自己負担額に対し、上限5,000円まで補助。  
（参考：市町村実施の場合1,500円～4,000円程度）
- 申請方法：申請書に領収書原本を貼付し、必要事項を記入して健保組合へ提出ください。  
確認後、補助額を給与口座へ振り込みます。
- 申請期限：毎月20日着で翌月給与支払い日に振込み。最終締切は4月15日必着。

#### （補助に対するご注意）

- 年度内に重複して同一部位のがん検診補助は受けられません。  
人間ドック（50歳節目ドック・60歳定年記念ドック・任意ドック）補助と重複して補助は受けられません。
- 保険証を使用する「医療」で検査を受けた場合は補助できません。  
すでに症状がある場合は検診を待たずに、「医療」で受診しましょう。

#### 胃内視鏡検査

**推奨**

胃の粘膜を直接観察する  
口や鼻から内視鏡を入れて、胃の粘膜を直接観察します。胃部X線検査では見つけにくい小さながんの早期発見が可能です。  
<50歳以上2年に1回推奨>



#### 胃部X線検査

バリウムを飲んで胃の状態を撮影  
検診で行われる基本的な検査です。  
検査前にバリウムを飲んでから、X線  
で胃を撮影します。  
<当分の間、年1回実施可>

#### ◆厚生労働省が推奨する胃がん検診

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、胃部X線検査 または胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部X線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部X線検査については年1回実施可

<問合せ>

住友ゴム工業健康保険組合 TEL：078-265-3059 E-mail [k-kenkouhoken.az@srigroup.co.jp](mailto:k-kenkouhoken.az@srigroup.co.jp)